

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	975.75	2023/03/06
High	980.50	2023/03/07
Low	928.07	2023/03/08
Close	959.63	2023/03/10

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4284.00	2023/03/06
High	4292.00	2023/03/07
Low	4101.00	2023/03/08
Close	4184.00	2023/03/10

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	1444.00	2023/03/06
High	1451.90	2023/03/06
Low	1349.50	2023/03/09
Close	1378.00	2023/03/10

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	6346.00	2023/03/06
High	6346.00	2023/03/06
Low	5900.00	2023/03/10
Close	5988.00	2023/03/10



ニュースエクスプレス

韓国の都市で燃料電池需要高まる

韓国第3の都市、仁川市は世界に先駆けて来年末までに燃料電池バスを700台（2030年までに2000台）導入する。バスはヒュンデが提供し燃料電池バスとしては世界で最も多い運用台数となる。バスに使われる水素燃料はグリーン水素ではなく、石油化学の生産過程でできる副産物としての水素を使う。そのため水の電解による水素生産のイリジウム需要の増加に現在の時点では繋がらないが、このやり方はグリーン水素生産への投資が現実になるまで、グリーン水素のエンドユーザーに水素を提供する方法としては導入しやすいといえよう。世界中で炭素排出量の削減が進められる中、都市やその近郊において燃料電池で走る公共交通機関が重要になってくるだろう。例えばドイツのアシャッフェンブルグ市とドイツ鉄道は2月に燃料電池バス72台を注文、ブレーマーフェルデ市では燃料電池の機関車が走っている。燃料電池で走る公共交通機関やトラックは従来のディーゼルパワートレインのものと比べると普及台数はまだ比較的小さいが、今後の増加はプラチナ需要を支えるだろう。

https://www.heraeus.com/media/media/hpm/doc_hpm/precious_metal_update/en_6/Appraisal_20230306.pdf#msdyntrid=Jn-4xZhPryZ9acelSgqk2VvOnF42ocJn3QCz_fpOoE

ノリリスクニッケル、人民元で中国にメタル販売

最近のレポートによるとロシアの大企業ノリリスクニッケルは中国向けに上海で決まる価格にて人民元でのメタルの販売を始め、コモディティー取引の世界に変化をもたらしている。ノリリスクニッケルはロンドン金属取引所(LME)と上海期貨交易所(SHFE)の価格をベースとしたスポット価格市場で、上海渡しのニッケルを売り、人民元で決済。ロシアは世界最大のニッケル生産国であるが、世界最大の原料消費国である中国での足場を広げ、販売の増加に繋げようという動きだ。

ノリリスクニッケルが中国に人民元決済にてメタルを売り始めたのは、ロシアと中国がドルへの依存を減らし自国通貨での取引を増やそうとしている動きの反映でもある。現在、世界のコモディティー取引の大半はドル建てのグローバルベンチマーク価格で行われているが、ロシアと中国はドルではなく自国の通貨での取引を増やす方法を探っており、中国政府は上海市場の先物価格にリンクした長期契約に積極的であるとされている。

ノリリスクニッケルの大株主であるウラジミール・ポターニン氏は個人として米国と英国の経済制裁の対象となっているが、ノリリスクニッケル自体は制裁対象ではない。それでも欧米のバイヤーはロシアから直接コモディティーを買い付けることを避けているのが現状だが、それはノリリスクニッケルが中国へ販売を始めたことで中国とロシアが経済的な関係を強化し、変化する可能性もある。両国の交渉は既に進行中で、今後の契約は LME と SHFE の価格が混合したものとなる可能性もある。

<https://menafn.com/1105711047/Norilsk-Nickel-sells-metal-to-China-in-yuan>

Translated by Osawa KAZUKO



WPIC直近の活動

- WPICは3月8日に2022年の第4四半期を発表した。第4四半期のプラチナ精錬供給は南アフリカとロシアの生産問題で前年比マイナス19%となった。リサイクルに関しても廃車体と宝飾品の新旧交換が減り、前年比マイナス19%。投資と自動車需要は好調だが、工業需要の低迷で前年比マイナス5%。総じて2022年は供給余剰が減り、2023年は供給の制約と需要の伸びで供給不足になると予測。詳しくは[プラチナPQ（2022年第4四半期レポート プレゼンテーション）](https://platinuminvestment.com/supply-and-demand/platinum-quarterly)をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/supply-and-demand/platinum-quarterly>



(@wpicjapan)

免責事項：本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。